

科目名	心理学						
科目名(英)	Clinical psychology						
単位数	2		時間数	30時間	担当者	井上 慎司	
実施年度	2022年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 1年						
授業概要	・心理学とはどのような学問か、心理学の歴史、心理学の研究法について理解する。 ・感覚と知覚、記憶、知能、学習、感情の定義と分類について理解する。 ・性格とパーソナリティ、発達、発達段階の定義と分類について理解する。 ・ストレス、精神疾患、心の悩み、それぞれの心理療法の人間観を理解する。 ・対人援助とは何か、医療従事者の心理、患者の心理について理解する。						
授業形式	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				知覚や記憶、学習、動機づけをめぐる心理学的な理論について説明することができる。	
	○	○				心理発達とその各発達段階や発達課題について説明することができる。	
	○	○				性格やパーソナリティ発達の起源や対人状況との関連について説明することができる。	
	○	○				対象者への援助の方法についての基礎的な知識・技法について説明することができる。	
	○	○				他者や自分を振り返るための機会とし、自他について認識した内容を説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	『心理学【カレッジ版】』 山村豊・高橋一公 医学書院 参考文献：『リエゾン・カンファレンスーリハビリテーション医療における心理的ケア』 乾吉佑 慶應義塾大学出版会						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	心理学とは何か ― 心とは何か、対人援助と心理学、心理学の研究法				教科書の予習をしておく。	
	2	感覚と知覚 ― 感覚、知覚とは、感覚の仕組みと働き、知覚の仕組みと働き				教科書を予習し、授業資料のまとめを復習しておく。	
	3	記憶 ― 記憶のメカニズム、短期記憶と作業記憶、長期記憶と忘却				教科書を予習し、授業資料のまとめを復習しておく。	
	4	思考と知能 ― 思考とは何か、知能とは何か、言語とコミュニケーション				教科書を予習し、授業資料のまとめを復習しておく。	
	5	学習 ― 学習理論、古典的条件づけ、オペラント条件づけ				教科書を予習し、授業資料のまとめを復習しておく。	
	6	動機づけ ― 感情とは、感情のメカニズム、動機づけの理論				教科書を予習し、授業資料のまとめを復習しておく。	
	7	性格 ― 性格とは、性格の理論、性格の測定				教科書を予習し、授業資料のまとめを復習しておく。	
	8	社会と集団 ― 社会的認知、対人関係と対人魅力、集団とリーダーシップ				教科書を予習し、授業資料のまとめを復習しておく。	
	9	発達① ― 発達とは、各発達段階の捉え方、乳幼児期、児童期				教科書を予習し、授業資料のまとめを復習しておく。	
	10	発達② ― 青年期、成人期、アイデンティティ、中年期、高齢期				教科書を予習し、授業資料のまとめを復習しておく。	
	11	心理臨床① ― 心理臨床と臨床心理学、心の適応と不適応、精神疾患の分類				教科書を予習し、授業資料のまとめを復習しておく。	
	12	心理臨床② ― 心理療法とカウンセリング、各心理療法の基本的な想定				教科書を予習し、授業資料のまとめを復習しておく。	
	13	医療と心理① ― 医療職と対人援助、対人援助の機能				教科書を予習し、授業資料のまとめを復習しておく。	
	14	医療と心理② ― 患者の心理特性、医療従事者の心理				教科書を予習し、授業資料のまとめを復習しておく。	
	15	まとめ・要約				教科書、資料の復習。	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				100%
履修上の注意	国家試験の過去問に目を通し、どの程度の心理学・臨床心理学的な知識が求められるのかをひとまず理解したうえで、医療従事者として、さらなる心理的な理解を深めることが望ましい。						

科目名	倫理学						
科目名(英)	Bioethics						
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	今泉 晴行	
実施年度	2022年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 1年						
授業概要	脳死・臓器移植や安楽死・尊厳死、人工妊娠中絶や生殖補助医療など、医療における 倫理上の問題を引き起こす様々な事例において、どのような議論が行われているかを検討する。						
授業形式	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				上記のような問題提起に対し、自己決定の尊重、生命の尊厳人権といった倫理的な価値やそれらに関する様々な考え方を理解する。	
	○	○		○		こうした問題の検討を通じて自身の拠って立つ 価値観を探りつつ自らの意見を獲得する。	
テキスト・教材 参考図書	講義毎に配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	生命倫理・倫理学とは何か				講義時に復習課題と予習内容を指示する	
	2	医療は何のためにあるのかー自己決定の尊重とパターンリズム				講義時に復習課題と予習内容を指示する	
	3	生命倫理・倫理学とは何か				講義時に復習課題と予習内容を指示する	
	4	無駄な延命治療は中止すべきかー尊厳死の問題				講義時に復習課題と予習内容を指示する	
	5	死を選択する権利を認めるべきかー安楽死の問題				講義時に復習課題と予習内容を指示する	
	6	よい死とは何かー緩和ケアと安楽死・尊厳死				講義時に復習課題と予習内容を指示する	
	7	2.「いのちの始まり」の倫理学				講義時に復習課題と予習内容を指示する	
	8	子供を作る選択肢は多い方がよいかー精子・卵子・胚の提供と代理出産				講義時に復習課題と予習内容を指示する	
	9	産まれる子を選ぶ権利を認めるべきかー出生前診断と選択的中絶				講義時に復習課題と予習内容を指示する	
	10	したい人がいるなら何でも認めるべきかー着床前診断・遺伝子治療・エンハンスメント				講義時に復習課題と予習内容を指示する	
	11	3.「いのちのひろがり」の倫理学				講義時に復習課題と予習内容を指示する	
	12	なぜ脳死者の臓器を利用してよいのかー臓器摘出の条件(オプトインとオプトアウト)				講義時に復習課題と予習内容を指示する	
	13	臓器提供は無償でないといけないのかー提供への対価の是非				講義時に復習課題と予習内容を指示する	
	14	授業全体の振り返り				講義時に復習課題と予習内容を指示する	
	15	まとめ				講義時に復習課題を指示する	
評価方法	(1)リアクションペーパーの提出 (2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	リアクションペーパー	○			○		50%
履修上の注意	この授業では、倫理学上の問題について学生自身が考えることを目的とします。そのため、授業への主体的な参加が求められます。考えを深めるためにペアやグループで意見交換する時間を多く設ける予定です。講義パートも対話的に進みます。非常に素朴なものから社会制度に関わるものまで様々な問いに投げかけるので、積極的にリアクションしてください。また、学生の興味に応じて、授業中に扱う問題を前後させたり、内容を変更することがあります。						

科目名	情報処理											
科目名(英)												
単位数	2		時間数		30時間		担当者		谷口 久美子			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	作業療法学科夜間部 1年											
授業概要	Word・Excel・PowerPointのアプリケーションソフトの基礎的な操作を学習し、レポート・発表会資料等の作成時に活用することができる。文章の入力に関して、5分間で200字以上(3級レベル)の文字入力ができる。											
授業形式	講義: △		演習:		実習:		実技: ○		※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○	○	○	○		キーボード入力が正確でスピーディに行えるようになる。(5分間で200字3級レベル程度以上)						
	○	○	○	○		Wordを使用してレポートや論文が作成できるようになる。						
	○	○	○	○		Excelを使用して表計算機能ができるようになる。						
	○	○	○	○		PowerPointを使用してスライド・資料作成ができるようになる。						
テキスト・教材 参考図書	教科書:30時間でマスター office2019 実教出版企画開発部											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	オリエンテーション、Windowsの基礎、入力速度チェック					入力練習・復習					
	2	Wordの基礎、文字入力、編集、保存					入力練習・復習					
	3	書式設定、画像、SmartArtグラフィック					入力練習・復習					
	4	表、ページ罫線、タブ					入力練習・復習					
	5	ワードアート、段組					入力練習・復習					
	6	Word復習テスト・他					入力練習・復習					
	7	Excelの基礎、文字・数値の入力、表作成					入力練習・復習					
	8	表作成、四則演算、関数(SUM,AVERAGE,MAX,MIN)					入力練習・復習					
	9	絶対参照、関数(COUNT,COUNTA,IF)					入力練習・復習					
	10	データ分析(並べ替え、オートフィルタ)、グラフ作成					入力練習・復習					
	11	Excel復習テスト・他					入力練習・復習					
	12	キーボード入力の記録会、PowerPointの基礎					入力練習・復習					
	13	スライドの作成、スライドの書式設定					入力練習・復習					
	14	画像等の挿入、画面切替え、アニメーション、リハーサル、資料の作成					入力練習・復習					
	15	まとめ										
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。(2)レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記/実技)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験(筆記/実技)	○		○		◎		○				60%
	小テスト	○		○		◎		○				40%
履修上の注意												

科目名	社会人基礎力講座 I（GCB I）						
科目名(英)	Groval Citizen Basic I						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	本田 恵子 竹中 祐二
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	竹中:作業療法士として病院・福祉施設勤務
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 1年生						
授業概要	医療従事者として基礎となる、感謝心と思いやりの心を学ぶ。 医療従事者としての正しい言葉使い、社会人としてのマナーを学び社会人基礎力向上を目標とする。 また医療人としてチーム医療を取るためのコミュニケーション能力を獲得することを目的とする。						
授業形式	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○			○		グローバル・シティズンとは何かを理解し、自分が恵まれた環境にあることに感謝することができる。	
	○			○		仲間を大切に、共同（協働）の気持ちを持つことの重要性を考え、気づくことができる。	
	○					医療従事者として、正しいことば遣いを理解することができる。	
		○				医療従事者として、立ち振舞の基本と応用を実践することができる。	
○						チーム医療の中でより良いコミュニケーションを取るためのマナーを理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	1. GCB I テキスト 2. 教科書:実社会で求められるビジネスマナー（専門教育出版）						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	グローバル・シティズンを目指す・「協働」の態度を持った学生生活				教科書にて復習	
	2	よりよい人間関係の構築に向けてーモラル・ルール・マナーの重要性ー				教科書にて復習	
	3	マナーの本質-相手に良い印象を与える・相手に敬意を表する-				教科書にて復習	
	4	グローバル・シティズンとしての日常				教科書にて復習	
	5	グローバル・シティズンとしての目標				教科書にて復習	
	6	接遇の五原則・自己紹介				教科書にて復習	
	7	言葉遣い				教科書にて復習	
	8	言葉遣い				教科書にて復習	
	9	言葉遣い				教科書にて復習	
	10	立ち居振る舞いの基本と応用				教科書にて復習	
	11	電話応対				教科書にて復習	
	12	電話応対				教科書にて復習	
	13	来客応対				教科書にて復習	
	14	手紙の書き方・冠婚葬祭				教科書にて復習	
	15	マナー一般				教科書にて復習	
評価方法	成績処理方法： 1.レポート 40(%) 2.定期試験 60(%) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	小テスト	◎	○		◎		40%
履修上の注意							

科目名	解剖学						
科目名(英)	Anatomy						
単位数	1		時間数	30時間	担当者	小川 皓一	
実施年度	2022年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部1年						
授業概要	解剖学の学習に必要な用語を学ぶ。人体を構成する細胞・組織の構造と機能を理解 する。運動器系(骨格、関節・靱帯、筋)の構造を理解する。循環器系の構造を理解する。内臓(呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系)の構造・機能を学習する。						
授業形式	講義:	○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				骨・関節・靱帯に関する構造、部位の名称、特徴を理解できる。	
		○				骨格筋の構造、頭部・顔面・体幹・上肢・下肢の位置や名称を理解できる。	
		○				循環器系における必要知識を理解できる。	
		○				呼吸器・消化器系・泌尿器系、生殖器系、内分泌系における必要知識を理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	教科書:1. PT・OT・STのための解剖学 渡辺正仁 監修 廣川書店 参考文献: 1. あたらしい人体解剖アトラス 佐藤達夫 訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル社 2. ネット解剖学アトラス(第6版) 相磯貞和 訳 南江堂 3. 日本人体解剖学 上・下巻(第19版) 金子丑之助 原著 南山堂						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	解剖学概論:人体の構成、解剖学用語、細胞の構造と機能				授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。配布される復習プリントで重要事項を確認する。	
	2	組織学総論:上皮組織、支持組織(結合組織・軟骨・骨・血液)、筋組織、神経組織				授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。配布される復習プリントで重要事項を確認する。	
	3	骨格系①:総論、頭蓋骨、脊柱、胸郭				授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。配布される復習プリントで重要事項を確認する。	
	4	骨格系②:上肢の骨、下肢の骨				授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。配布される復習プリントで重要事項を確認する。	
	5	関節と靱帯①:総論、頭蓋骨の連結、脊柱の連結、胸郭の連結				授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。配布される復習プリントで重要事項を確認する。	
	6	関節と靱帯②:上肢帯・自由上肢の連結、下肢帯・自由下肢の連結				授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。配布される復習プリントで重要事項を確認する。	
	7	筋系 ①:総論、頭部・顔面の筋、舌・口蓋・咽頭・喉頭の筋				授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。配布される復習プリントで重要事項を確認する。	
	8	筋系 ②:背部の筋、体幹の筋				授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。配布される復習プリントで重要事項を確認する。	
	9	筋系 ③:上肢の筋、下肢の筋				授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。配布される復習プリントで重要事項を確認する。	
	10	循環器系 ①:血管の構造、心臓 ②:動脈系				授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。配布される復習プリントで重要事項を確認する。	
	11	循環器系 ③:静脈系 ④:胎生期の循環、リンパ系				授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。配布される復習プリントで重要事項を確認する。	
	12	呼吸器系 :鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支、肺、胸膜 消化器系 ①:消化管の一般構造、口腔、食道				授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。配布される復習プリントで重要事項を確認する。	
	13	消化器系 ②:胃、小腸、大腸 ③:肝臓、胆嚢、膵臓、腹膜				授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。配布される復習プリントで重要事項を確認する。	
	14	泌尿・生殖器系、内分泌系				授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。配布される復習プリントで重要事項を確認する。	
	15	まとめ					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)		◎				100%
履修上の注意							

科目名	生理学											
科目名(英)	Physiology											
単位数	1単位		時間数		30時間		担当者		坂口 博信			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 1年											
授業概要	人体についての基礎知識は医療に携わるひとには欠かせない。生理学は、人体の生命現象の仕組み(機能)を理解するための学問であり、医学の中で、最初に学ばねばならない基礎中の基礎となる科目である。本講義では、人体の各器官がどのように働き、生体内外の変化に対してどう反応して生体の恒常性を維持しているかを学習する。さらに、人体の正常な機能の知識に基づいて、病気のなりたちを理解していく。											
授業形式	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○	○				人体の各器官がどのように働き、生体内外の変化に対してどう反応して生体の恒常性を維持しているかを説明できる						
	○	○				人体の正常な機能の知識に基づいて、病気のなりたちを説明できる。						
テキスト・教材 参考図書	教科書：標準理学療法学・作業療法学～専門基礎分野～「生理学」 医学書院											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	生理学序論、細胞と内部環境					授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。					
	2	神経系(活動電位、シナプス、自律神経)					授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。					
	3	血液					授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。					
	4	免疫					授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。					
	5	循環器(心臓)					授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。					
	6	循環器(血圧)					授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。					
	7	呼吸器					授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。					
	8	呼吸器					授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。					
	9	消化器					授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。					
	10	消化器					授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。					
	11	腎・泌尿器					授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。					
	12	腎・泌尿器(酸塩基平衡)					授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。					
	13	内分泌					授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。					
	14	生殖					授業内容に該当する指定教科書の該当部分を復習する。					
	15	まとめ					指定教科書を用いて復習する。					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験(筆記)	◎		◎								100%
履修上の注意												

科目名	運動学Ⅰ						
科目名(英)	KinesiologyⅠ						
単位数	2単位	時間数	60時間	担当者	大内田 由美		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて作業療法士として勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 1年						
授業概要	解剖学、生理学で学ぶ身体の構造と機能を踏まえた上で、特に運動に関する身体の構造と機能の関係を理解する。 また、各部の関節の運動に関与する筋について学ぶ。						
授業形式	講義:	○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				運動に関する骨や筋の構造、筋収縮の機序を説明できる。	
	○	○				てこやモーメントといったバイオメカニクスについて説明できる。	
	○	○				各部の関節の運動に作用する筋の名称、起始、停止、支配神経を述べることができる。	
テキスト・教材 参考図書	教科書:1)中村隆一、齋藤宏:基礎運動学. 医歯薬出版株式会社 2)山崎敦:運動学. 羊土社 3)配布資料 参考文献:1)佐藤達夫:あたらしい人体解剖学アトラス. メディカル・サイエンス・インターナショナル 2)PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編. 南江堂						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	運動学とは、身体運動の面と軸、重力と姿勢、基本的な静的姿勢				基礎運動学、配布資料、動画を使用した復習	
	2	運動の表し方、各部の骨の構造と名称、各部の関節の構造と名称				復習テストの実施	
	3	骨格筋について				基礎運動学、配布資料、動画を使用した復習	
	4	骨格筋について				復習テストの実施	
	5	バイオメカニクス				復習テストの実施	
	6	頸部・体幹の運動に関与する筋				復習テストの実施	
	7	股関節の運動に関与する筋				基礎運動学、配布資料、動画を使用した復習	
	8	股関節・膝関節の運動に関与する筋				復習テストの実施	
	9	足関節・足部の運動に関与する筋、足のアーチ				復習テストの実施	
	10	肩甲帯・肩関節の運動に関与する筋				基礎運動学、配布資料、動画を使用した復習	
	11	肩関節の運動に関与する筋、ローテーターカフ				復習テストの実施	
	12	肘関節・前腕・手関節の運動に関与する筋				復習テストの実施	
	13	手関節・手指の運動に関与する筋				復習テストの実施	
	14	手内在筋(骨間筋・虫様筋・母指球筋・小指球筋)				復習テストの実施	
	15	体幹・下肢・上肢の筋のまとめ				基礎運動学、配布資料、動画を使用した復習	
評価方法	(1)授業の中で小テストを10回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト	◎	◎				100%
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意							

科目名	リハビリテーション概論Ⅰ											
科目名(英)	Introduction to Rehabilitation											
単位数	1単位		時間数		30時間		担当者		竹中 祐二			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験		病院・福祉施設で作業療法士として勤務			
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 1年											
授業概要	リハビリテーションの概略、分野や領域を知ることによりリハビリテーションの意義を理解する。またICFを理解し、障がいの分類、リハビリテーションのアプローチについて学ぶ。さらに代表的な疾患のリハビリテーションについて知る。OTとしての関わりの範囲や内容等について知る。											
授業形式	講義:		演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○				リハビリテーションの理念、歴史について説明できる						
	○	○				リハビリテーションの分野、領域について説明できる						
	○	○				国際障害分類と国際生活機能分類について説明できる						
	○	○				各専門職と役割、チームアプローチについて説明できる						
	○	○				リハビリテーションの流れについて説明できる						
テキスト・教材 参考図書	教科書:セラピストのための概説リハビリテーション(文光堂) 参考文献:PT・OT・ST・ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論-要点整理と用語解説(診断と治療社)											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	リハビリテーションの理念と目的					教科書の予習をしておく。					
	2	国際障害分類と国際生活機能分類					教科書の予習をしておく。					
	3	障害を持った人をどう理解し、接するべきか?					教科書の予習をしておく。					
	4	リハビリテーション専門職の役割と独自性					教科書の予習をしておく。					
	5	リハビリテーションの実際;リハビリテーション医療における評価					教科書の予習をしておく。					
	6	リハビリテーション医療の展開;機能・構造障害に対するアプローチ					教科書の予習をしておく。					
	7	リハビリテーション医療の展開;活動制限に対するアプローチ					教科書の予習をしておく。					
	8	リハビリテーション医療の展開;参加制約に対するアプローチ					教科書の予習をしておく。					
	9	病院・施設でのリハビリテーション					教科書の予習をしておく。					
	10	地域リハビリテーション					教科書の予習をしておく。					
	11	リハビリテーションの対象疾患(身体障害)					教科書の予習をしておく。					
	12	リハビリテーションの対象疾患(精神障害)					教科書の予習をしておく。					
	13	リハビリテーションの対象疾患(発達障害)					教科書の予習をしておく。					
	14	社会資源の活用					教科書の予習をしておく。					
	15	新しい可能性へのチャレンジ					教科書の予習をしておく。					
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験	◎		◎								70%
	小テスト	◎		◎								30%
	宿題・レポート											
	発表・作品											
履修上の注意												

科目名	作業療法概論											
科目名(英)	Introduction to Occupational therapy											
単位数	1単位		時間数		30時間		担当者		竹中 祐二			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験		病院・福祉施設で作業療法士として勤務			
対象学科・学年	作業療法学科 夜間部 1年											
授業概要	作業療法を概観し、その理念、定義、歴史、具体的実践を学び、医療福祉の中での作業療法の位置付けを知る。											
授業形式	講義:		演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○				作業療法の理念、歴史について説明できる						
	○	○				作業療法士が関わる領域や時期について説明できる						
	○	○				主な作業療法の領域における専門性について説明できる						
	○	○				作業療法士に求められる資質や適性について説明できる						
テキスト・教材 参考図書	教科書:二木淑子、能登真一編:標準作業療法学 作業療法概論. 第3版 医学書院 参考文献:長崎重信編:作業療法学ゴールドマスターテキスト, 作業療法概論. 改訂第2版, メジカルビュー社											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	作業療法とは					教科書の予習をしておく。					
	2	作業療法の歴史					教科書の予習をしておく。					
	3	作業療法の歴史					教科書の予習をしておく。					
	4	作業療法の領域					教科書の予習をしておく。					
	5	作業療法の理論					教科書の予習をしておく。					
	6	作業療法の教育体系					教科書の予習をしておく。					
	7	医療倫理と作業療法士に求められる資質・適正					教科書の予習をしておく。					
	8	多職種連携協働について					教科書の予習をしておく。					
	9	EBMと作業療法士					教科書の予習をしておく。					
	10	作業療法の実践過程					教科書の予習をしておく。					
	11	作業療法の思考過程					教科書の予習をしておく。					
	12	身体機能分野における作業療法の実践					教科書の予習をしておく。					
	13	精神機能分野における作業療法の実践					教科書の予習をしておく。					
	14	発達過程分野における作業療法の実践					教科書の予習をしておく。					
	15	高齢期分野における作業療法の実践					教科書の予習をしておく。					
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験	◎		◎								70%
	小テスト	◎		◎								30%
	宿題・レポート											
	発表・作品											
履修上の注意												